

別名はコバノトネリコ。野球のバットの木として知られており、大谷翔平選手も最近まで使用していたことで有名です。現在はメープル材が主流になりましたが、かつてはプロ野球選手の多くがアオダモ製のバットを愛用していました。材は硬さと粘りがあり、衝撃に強い性質を持っており、バット素材やラケット、スキー板として重宝されました。

アオダモの枝には、紫外線で青く発光する物質が入っています。部屋を暗くして、コップに水を入れて枝を入れ、ブラックライトをあてると、青色の美しい蛍光が見られます。

樹皮は、漢方で秦皮（シンヒ）と呼ばれ、下痢止め、解熱、洗眼剤として利用されました。

初夏にフワフワとした白い美しい花が木を覆うように咲きます。まるで雪が積もっているようで、たいへん美しいです。実は翼果。熟すと茶色になりますが、若いうちは、鮮やかな紅色でよく目立ちます。県民の森では、昭和の森や、市町村の森、七滝登山道でも出会えます。



初夏には白い花が木を覆うように咲き、たいへん美しいです。(昭和の森にて)

2021年5月27日



アオダモ冬芽 2021年3月31日



芽吹き 2021年5月6日



新葉 2021年5月18日



花 2021年5月25日



若い実 2021年6月22日



紅葉 2021年10月8日